

第4回日本環境感染学会 教育委員会講習会

「問題となっている感染症の具体的な施設内対策」

ICPの取り組み

— *Clostridium difficile* への対応

補足資料

2008年2月22日(金)16:30 ~ 18:30
(長崎ブリックホール 2F 大ホール)

英国・国営医療システム
効果的な感染対策の組み合わせ
(High Impact Intervention)

Clostridium difficile 対策ケア・バンドル

Saving Lives: reducing infection, delivering clean and safe care

High Impact Intervention No 7

Care bundle to reduce the risk from *Clostridium difficile*



Saving Lives: reducing infection, delivering clean and safe care. High Impact Intervention No 7 . Care bundle to reduce the risk from *Clostridium difficile*
<http://www.clean-safe-care.nhs.uk/public/default.aspx?level=2&load=Tools&NodeID=181>

Clostridium difficile 関連下痢症・腸炎発症の ハイリスク患者とは？

- ①高齡者
- ②基礎疾患が重症化している場合
- ③経鼻胃管挿管
- ④制酸剤の投与
- ⑤ICU入院歴
- ⑥長期入院経過中
- ⑦抗菌薬投与期間中
- ⑧抗菌薬の重複投与期間中

*Clostridium difficile*関連下痢症・腸炎 発生時の感染対策

【対策1】抗菌薬の適正使用

（菌交代症の予防による発生抑止）

【対策2】患者発生時の速やかな隔離

【対策3】患者発生時の病院環境のクリーニング

【対策4】患者発生時の手指衛生の遵守

（流水と石けんによる手洗い）

【対策5】患者発生時の個人防護具

（サージカルマスク・手袋・ガウン）の装着

英国・国営医療システムのHigh Impact Intervention
Clostridium difficile 対策ケア・バンドルより

【対策1】

抗菌薬の適正使用

(菌交代症の予防による発生抑止)

- ① 抗菌薬の適正処方推進する
(感染症を治療し保菌状態で抗菌薬の投与を行わない)
- ② 十分量の抗菌薬を必要最低限の処方期間で
- ③ 広域スペクトラムの抗菌薬の処方規制
- ④ 感染症の専門医と連携する

英国・国営医療システムのHigh Impact Intervention
Clostridium difficile 対策ケア・バンドルより

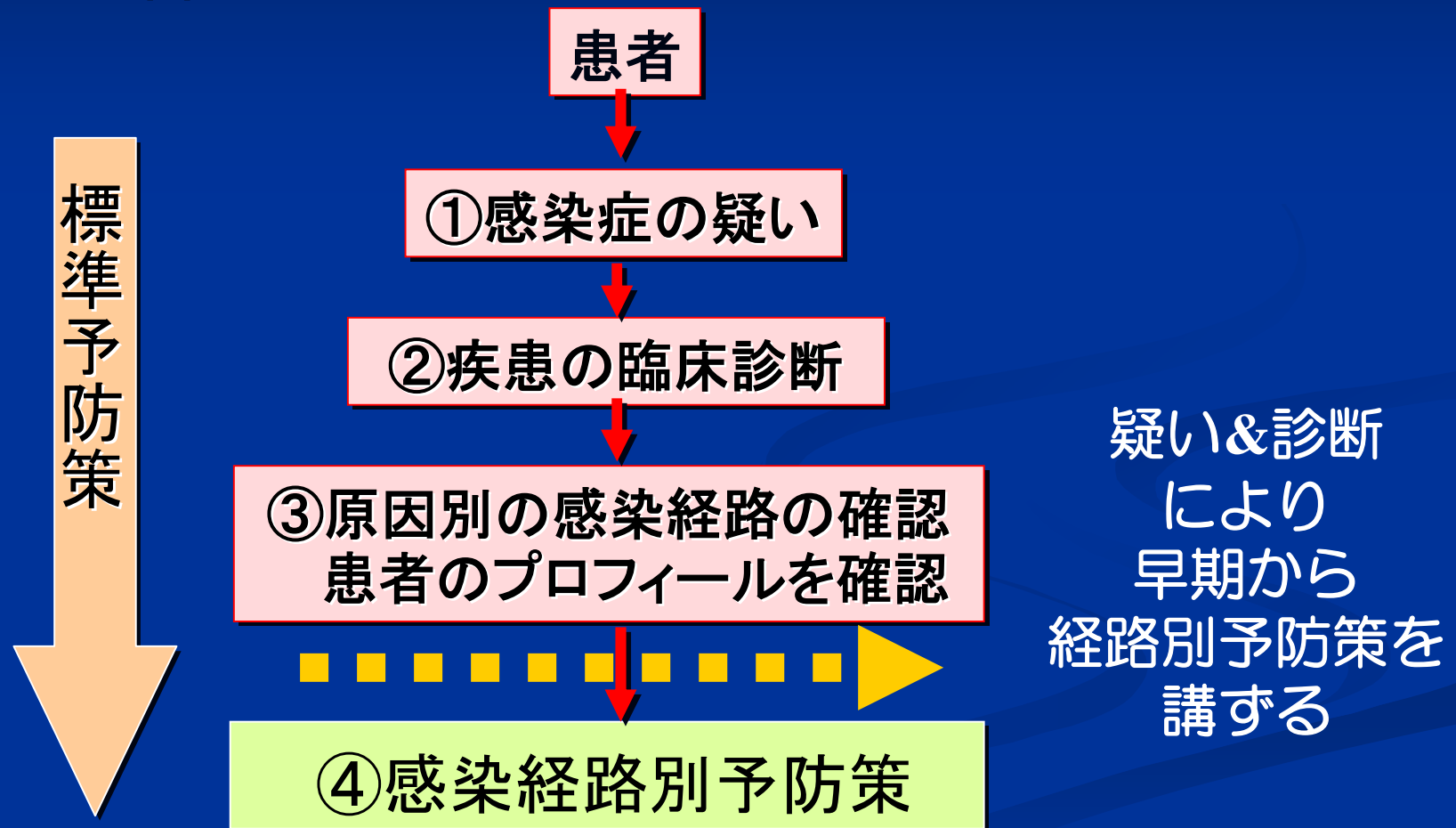
【対策2】

患者発生時の速やかな患者隔離

- ①患者を速やかに隔離
- ②患者は可能な限り個室隔離する
- ③扉の開放や集団隔離は可能な限り避ける
- ④退院可能な限り早く退院してもらおう

CDC:隔離予防策2007

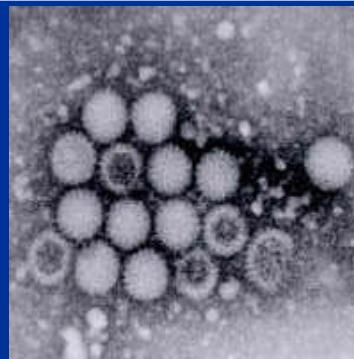
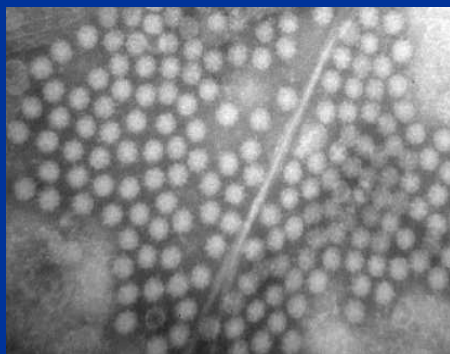
エンピリックな隔離予防策の適応 (Empiric application)



CDC:隔離予防策2007

エンピリックな隔離予防策の適応 (Empiric application)

下痢		
臨床症状 または病態	可能性のある 病原体	経験的予防策 (常に標準予防策を含む)
失禁患者やおむつ 患者で感染性の原 因がありそうな急性 下痢症	腸内病原体	標準予防策 (小児および成人)



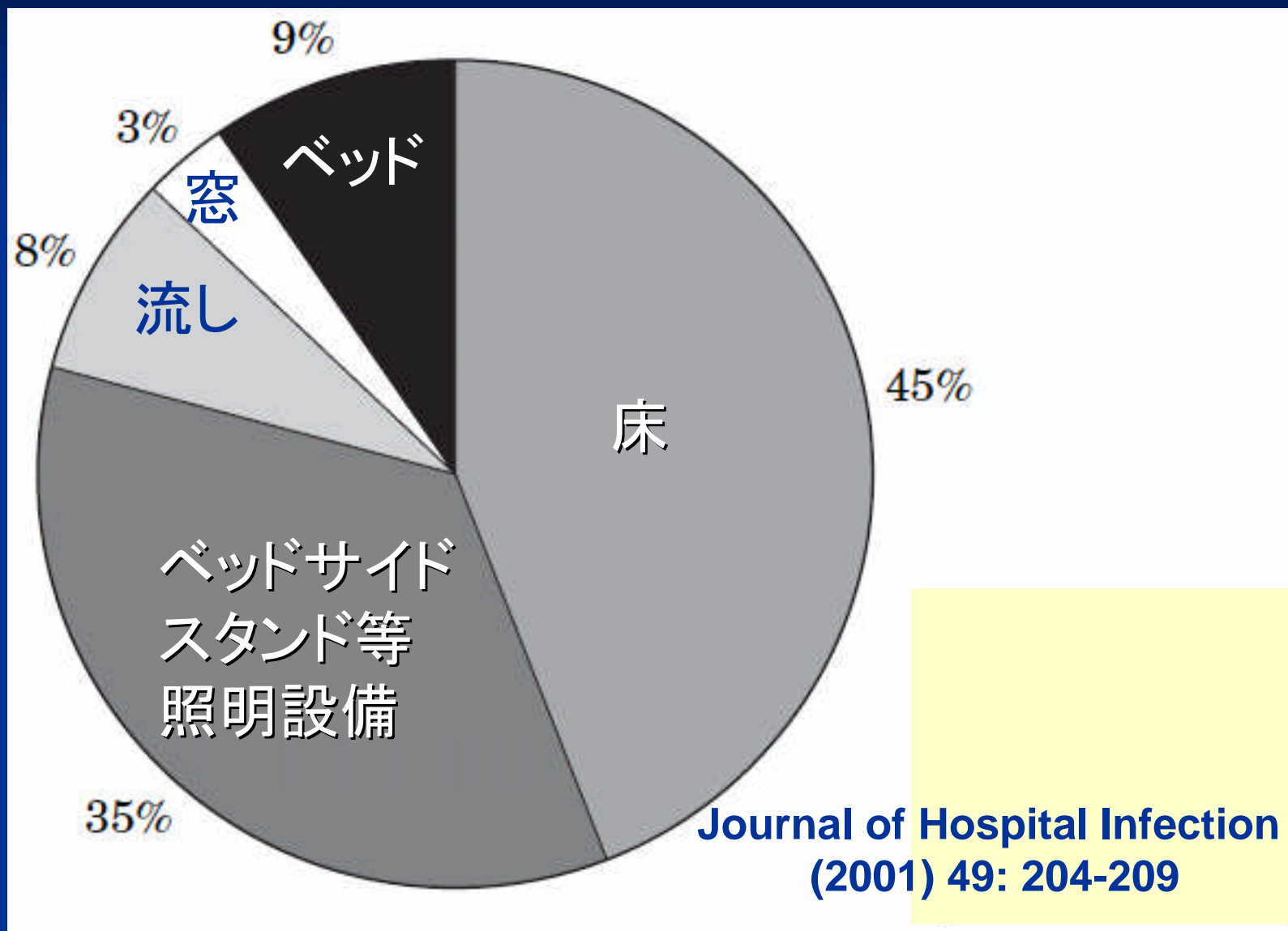
【対策3】

患者発生時の病院環境のクリーニング

- ①環境のクリーニングを強化
- ②次亜塩素酸ナトリウムによる環境消毒を加える
※高頻度接触部位と床を丁寧に消毒
- ③患者が使用した器具（ポータブル便器等）のクリーニング

英国・国営医療システムのHigh Impact Intervention
Clostridium difficile 対策ケア・バンドルより

*Clostridium difficile*による環境汚染部位



【対策4】

患者発生時の手袋装着と 流水と石けんによる手指衛生の遵守

- ①患者ケア時には手袋を装着する
- ②芽胞にアルコール系手指衛生剤は無効
- ③流水と石けんによる手洗いを実施する
- ④アルコール系手指衛生剤は
院内のその他の病原体対策には有用

英国・国営医療システムのHigh Impact Intervention
Clostridium difficile 対策ケア・バンドルより

CONTACT PRECAUTIONS

All Visitors, Physicians and Hospital Staff **MUST** Adhere to the Following Precautions:



WEAR GLOVES
in room



WEAR GOWN if in contact
with patient or linen



WASH HANDS

ATTENTION TO ALL VISITORS AND STAFF:

SOAP AND WATER HANDWASHING ONLY

Bleach clean

- Before entering room
- After removing gloves
- After patient care
- After touching body fluids
- Before caring for another patient

STANDARD PRECAUTIONS AT ALL TIMES!

Barriers must be worn when in direct contact with patient, environmental surfaces, or patient care

UC4133 (Was UCQ351) Rev. 03/09/04

病原体のアルコール系消毒薬抵抗性別の 感染対策(例)



①ノロウイルスや
Clostridium difficile
にはアルコール手指消毒薬
では効果が期待できない



①入退室前後に
流水と石けんで手洗いを



②ガウンを着用



③手袋装着
※外したら
流水と石けん手洗い



④聴診器や血圧計は専用で

【対策5】

患者発生時の個人防護具の装着
(サージカルマスク・手袋・ガウン)

- ①患者ケア・診察時に個人防護具の装着を徹底
- ②面会・付き添い人も個人防護具の装着を徹底

英国・国営医療システムのHigh Impact Intervention
Clostridium difficile 対策ケア・バンドルより

【経営面から見た感染対策の考え方】

- ①早期対応を行えばコスト節減に繋がる
- ②平均在院日数の短縮が期待できる
- ③患者満足度の向上が見込める
- ④患者からの信頼が増し病院の評価を高める

英国・国営医療システムのHigh Impact Intervention
Clostridium difficile 対策ケア・バンドルより

【 注意事項・免責事項 】

- ◆本プレゼンテーション資料の著作権は、日本環境感染学会に帰属します。
- ◆ユーザーは、これら(一部あるいは全部を問わず)を医療を提供する現場において、医療従事者や職員の教育や指導のために使用する場合、自由に使用可能です。
- ◆商用のための複製、公開、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳、転載、再利用を禁じます。
- ◆入手後の内容の変更・使用については自己責任とします。

総監修：大久保 憲

監修：加藤はる

編集：満田年宏 大友陽子 森兼啓太 高野八百子

製作：【 日本環境感染学会教育委員会 教育ツール作業部会 】

森澤雄司 田中美智男 白石 正

黒田恵美 高崎晴子 加來浩器 (担当順)